

2025年度法学部法律学科

新2年次生學習指導

目次

I 2年次生の年間スケジュール

II 科目履修について

展開科目の履修にあたっての注意事項

演習(ゼミ)の登録・履修

副専攻

III 留学について

在学中に海外留学する方法

法学部の派遣留学プログラム～「次世代リーダー養成プログラム」

留学準備／留学の代わりに

IV 進路について

就職支援

企業法務関連科目、特殊講義

大学院進学～法学研究科と司法研究科、法学部早期卒業

法職講座、答案作成ゼミナール

I 2年次生の年間スケジュール

- 4月4日～10日 春学期オンデマンド授業期間 (DO Week)
- 4月11日 春学期面接講義開始
- 6月 ゼミ説明会 (予定)
ゼミ第1次募集 → 登録
- 7月 ゼミ第1次募集選考結果発表
ゼミ追加募集 → 登録、選考結果発表
- 9月 ゼミ最終募集 → 登録、選考結果発表

- 9月24日～30日 秋学期オンデマンド授業期間 (DO Week)
- 10月1日 秋学期面接講義開始
- 12月ごろ 早期卒業説明会・留学プログラム説明会 (予定)
- 3月 早期卒業エントリー

Ⅱ 科目履修について

*2年次生から広がる選択肢

自ら選択して履修できる科目の増加・演習科目（ゼミ）・副専攻

*ステップアップ方式

入門科目

リーガル・リサーチ・登録義務付け



基礎科目

全12科目 **中残り4科目**を**2年次春学期**に履修・登録義務付け



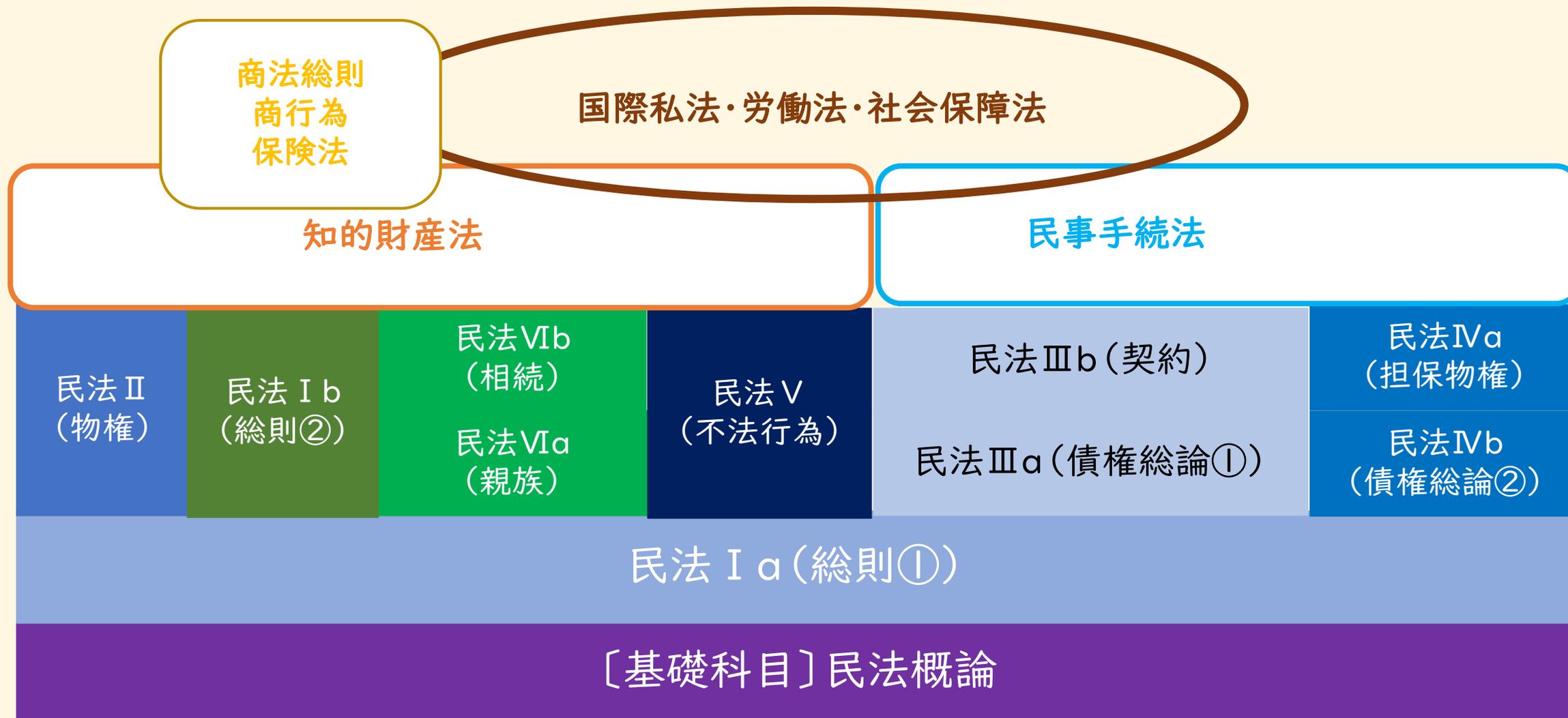
展開科目

より専門性の高い、**数多くの**法律科目から各自で**選択**して履修



自分の興味・関心・希望進路に応じて、体系的・効果的に学ぶために
履修モデル（法曹・公務員・企業法務・基礎法学）を活用しよう！

<展開科目(私法系)の履修体系>



登録関係資料「展開科目の履修について(私法系)」参照

*演習(ゼミ)とは・・・

- 特定の分野・テーマについて、自分で調べ、考え、教員や仲間と議論することで理解を深める場
- インプットからアウトプットへ!
- 2年秋、3年春・秋、4年春・秋に開設。持ち上がりではない。
- 必修ではない。

*副専攻 『2025法学部履修要項』42頁以下参照

- 法学のほか、もう一つの専門分野を修得
 - ・1パッケージ20単位で構成
 - ・**政治学科**、**経済学部**、**商学部** から複数のパッケージの提供
 - ・**すべて英語**で提供される、国際専修パッケージ
 - ・科学リテラシーを社会に行き渡らせ、社会と科学の架け橋になる人を養成する
サイエンスコミュニケーター養成パッケージ  [生命医科学部ホームページ参照](#)

Ⅲ 留学について

*在学中に海外留学する方法 3パターン

① 履修科目による留学

サマープログラム、スプリングプログラム、セメスタープログラムなど、海外留学を内容に含む科目の履修

② 在学留学

*派遣留学 学生交換協定のある大学への留学プログラム
全学対象のものと法学部独自のもの

*認定留学 学生が自分で留学先を探して受入許可が得られた後、
法学部で「在学留学」の認定を申請し、留学

③ 休学留学 休学して留学

| | 卒業への影響 | | 学費その他の負担 | | |
|---------------|-------------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------|
| | 留学期間の、 修業年限への 算入 | 留学中に修得 した単位の 認定 | 本学の学費 | 留学先の学費 | 交通費その他 |
| 履修科目 による留学 | 算入される | サマプロなど の科目の単位 として取得 | 支払う必要 有り | プログラム費 用として支払う | プログラム費 用として支払う |
| 在学留学 派遣留学 | 算入される | 本学の単位と して認定 | 支払う必要 有り | 支払う必要 無し | 支払う必要 有り |
| 在学留学 認定留学 | 算入される | 本学の単位と して認定 | 支払う必要 有り | 支払う必要 有り | 支払う必要 有り |
| 休学留学 | 算入されない =卒業時期が 延びる | 認定されない =卒業時期が 延びる可能性 | 休学在籍料 (1学期6万円) のみ | 支払う必要 有り | 支払う必要 有り |

▣ 国際課の『海外留学マニュアル』 [国際課ホームページ](#)

*法学部の派遣留学プログラム「次世代リーダー養成プログラム」 [法学部ホームページ](#)

1. ダブルディグリープログラム

2つの学位(ディグリー)の取得 同志社大学：学士(法学) + アリゾナ大学：Juris Doctor Degree

| 派遣先 | プログラム期間 | 留学期間 (秋学期から) | 対象年次 | 派遣人数 | 参加要件 | |
|---|------------------|-----------------|--------|------|------|----------|
| | | | | | 言語 | 学業成績 |
| アメリカ アリゾナ大学 James E. Rogers College of Law | 5年 (3年次参加の場合) | 2年 | 3年次生以上 | 制限なし | 英語 | GPA3.0以上 |

[法学部ホームページ](#)

2. 単位互換プログラム

法律学科

| 派遣先 | 留学期間 (秋学期から) | 対象年次 | 派遣人数 | 参加要件 | |
|--|-----------------|--------|------|-----------|----------|
| | | | | 言語(推奨言語) | 学業成績 |
| カナダ モントリオール大学 Faculty of Law | 1学期または1年 | 3年次生以上 | 若干名 | 英語(フランス語) | GPA3.0以上 |
| スイス チューリッヒ大学 Faculty of Law | | | 2名※ | 英語(ドイツ語) | 指定なし |
| 台湾 東呉大学 School of Law | | 2年次生以上 | 3名※ | 英語または中国語 | |
| 中国 雲南大学 Law School | | | 1名※ | 中国語 | |
| 中国 中国政法大学 School of International Education | | | 5名※ | 英語または中国語 | |

全学科

| 派遣先 | 留学期間 (秋学期から) | 対象年次 | 派遣人数 | 参加要件 | |
|---|-----------------|--------|------|------------|------|
| | | | | 言語 | 学業成績 |
| フランス トゥールーズ第1大学 Faculty of Law and Political Science | 1学期または1年 | 2年次生以上 | 2名※ | フランス語 | 指定なし |
| イタリア シエナ大学 Department of Law | | | 1名※ | 英語またはイタリア語 | |

[履修要項38頁](#)
[法学部ホームページ](#)

※大学院生を含めた総数

*留学準備／留学の代わりに

1. 外国語で授業が行われる科目 AKP科目、スタンフォード大学科目
KCLS科目、チュービンゲン大学科目 他
▣ 履修要項157頁
2. 副専攻「国際専修」パッケージ 1学年定員30名 ▣ 履修要項49頁
3. 全学共通教養教育センター「グローバルリベラルアーツ」副専攻
▣ [全学共通教養教育センターホームページ](#)
4. 語学テスト対策講座 TOEFL ITP®等テスト対策講座
▣ [国際課ホームページ](#)
5. 国際大会出場を目指す特殊講義
「法的交渉論」「国際物品売買と国際商事仲裁 (Vis Moot)」

IV 進路について

*就職支援 キャリアセンター(寒梅館2階)

- キャリアセンターのホームページを覗いてみよう!

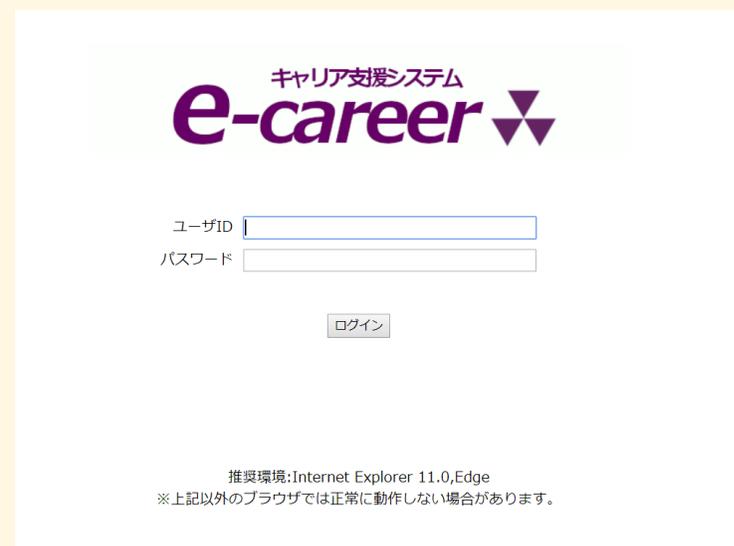
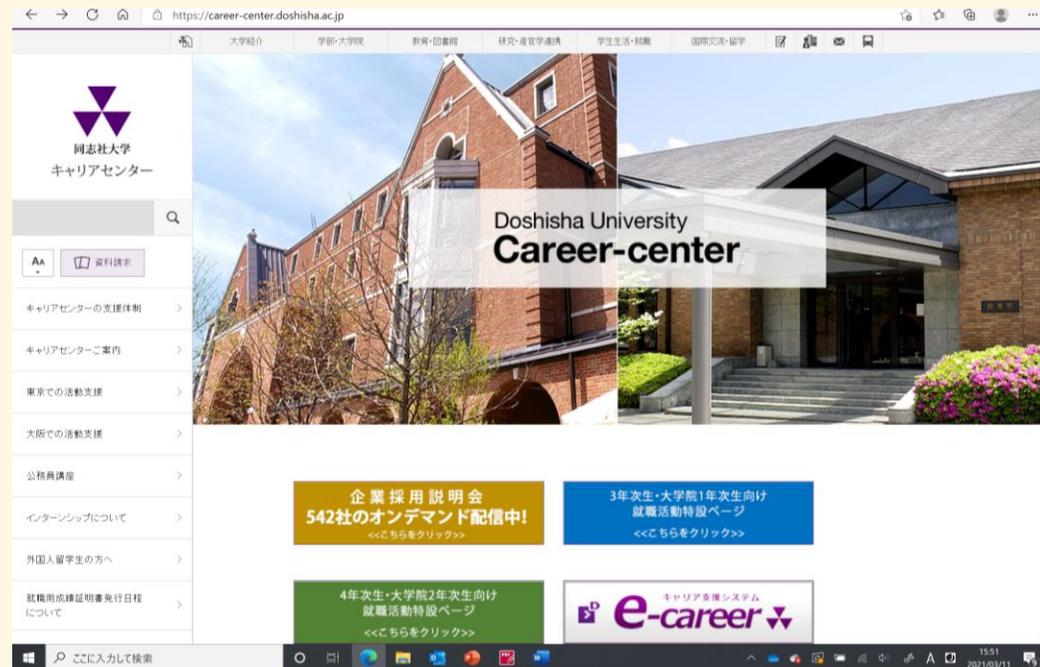
- ▣ [同志社大学キャリアセンター ホームページ](#)

- [インターンシップ情報](#)

- キャリアサポートシステム「e-career」へログインしてみよう!

- インターンシップ
セミナー、説明会
企業情報など

- ▣ [ログイン画面](#)



*企業法務関連科目

| | 1年次 | 2年次 | 3・4年次 | | 1年次 | 2年次 | 3・4年次 |
|---|--------|-----------------------|--|--|---|---|-------------------------------------|
| + | ビジネス法務 | 民法Ia(総則①) 民法II(物権) | 民法Ib(総則②) 民法IIIa(債権総論①) 民法IIIb(契約) 民法IVa(担保物権) 民法IVb(債権総論②) 民法V(不法行為) 会社法I 会社法II 民事訴訟法 | 会社法III 商法総則・商行為法I 商法総則・商行為法II 雇用関係法I 雇用関係法II | 倒産処理法I(破産法) 倒産処理法II(民事再生法・会社更生法) ADR・仲裁法 金融商品取引法 | 経済法I 経済法II 税法I 税法II 刑法各論II | |
| | | 国際法務 | | | 倒産処理法I(破産法) 民事執行・保全法 国際経済・環境法 金融商品取引法 | 保険法 国際取引法 国際財産法 国際民事手続法 | |
| | | 知財法務 | | | 知的財産法A 知的財産法B 知的財産法C 経済法I 経済法II | 国際経済・環境法 国際民事手続法 国際財産法 行政救済法II | |
| | | 人事法務 | | | 社会保障法I 人権保障の原理II | 労使関係法 雇用政策法 国際取引法 知的財産法A 知的財産法C | 倒産処理法I(破産法) 倒産処理法II(民事再生法・会社更生法) |



*将来の進路につながる特殊講義

- 新聞で知る世界（読売新聞寄付講座）
- 法的交渉論
- 国際物品売買と国際商事仲裁（Vis Moot）

特殊演習-1・2

国際物品売買と国際商事仲裁 (Vis Moot)

- この授業では、**企業間の国際取引紛争に関する模擬仲裁大会 (Vis Moot) への出場を目指します!** 内容をざっくり言えば、民法と民訴の国際バージョン。国際的なビジネスパーソン・法律家への第一歩!
- 大会そのものは秋学期ですが、**国際売買法と国際商事仲裁法の基礎的学習に取り組む春学期もセットで連続受講を!**
- 質問は、ぜひ気軽に野々村 (knomomur@mail.doshisha.ac.jp) にメールください。**4/5(土)@RY202の説明会**もぜひ来てくださいね!



特殊演習 - 001(春), 002(秋)

EVERY WEDNESDAY, 6TH PERIOD, 18:25-19:55, RY446

The 33rd VIS Moot!

Join Us for a Life-Changing Experience!!!



VIS preMoot JAPAN

2022 英語部門 1位、日本語部門 2位
2023 日本語部門 1位
2024 英語部門 2位、日本語部門 3位

19th VIS East(香港) Moot 2022

Best Memorandum for Resp. Honorable Mention 受賞

週イチひとコマ留学! 年度末に海外遠征!

あなたが弁護士となって企業間の国際取引紛争を解決せよ! リアルな法務と法学部での学びの連続性を体感する絶好の機会です!

Vis Moot は、毎年度末にウィーンと香港で開催される模擬仲裁の世界大会。企業間の国際的な物品売買契約 (Int'l Sale of Goods) で取引紛争が生じ、関係企業が、訴訟ではなく国際商事仲裁 (Int'l Commercial Arbitration) を通じた解決を申し立てた、というリアルな設定のもと、参加チームが、当事者企業を代理する弁護士となって、主張書面の作成と口頭審問の出来栄を競い合う大会です。

基礎的な英語力、法的・論理的な思考、チームワーク、立ち居振る舞いや言葉遣いなど社会人としてのエチケット、これらはこれからのグローバル時代の法務人材に不可欠なスキルセット。世界中の法学生や第一線の法律家との出会いを通じて、あなたの未来を切り拓いてみませんか? **Come and join us!!**

1

国際企業法務

の紛争解決シミュレーション。法律を学ぶ意味や楽しさ、あなたの未来がみえてくる!

2

いま大注目の

国際商事仲裁。Vis Moot の経験値は、就活でも注目されること間違いなし!

3

あなたが必要

なのはヤル気と度胸とどっかい夢! もし英語に不安を感じていても全く問題ありません!



Vienna 大会

<https://www.vismoot.org/>

法学のオリンピックと呼ばれるにふさわしい模擬仲裁の世界大会。全世界から約 400 大学、3000 名が集う一大祭典。



Hong Kong 大会

<https://www.cisgmoot.org/>

ウィーン大会と同じ課題で開催される、アジア圏を中心とする姉妹大会。ウィーンと同時に出場可能なので、こちらにも毎年出場しています!

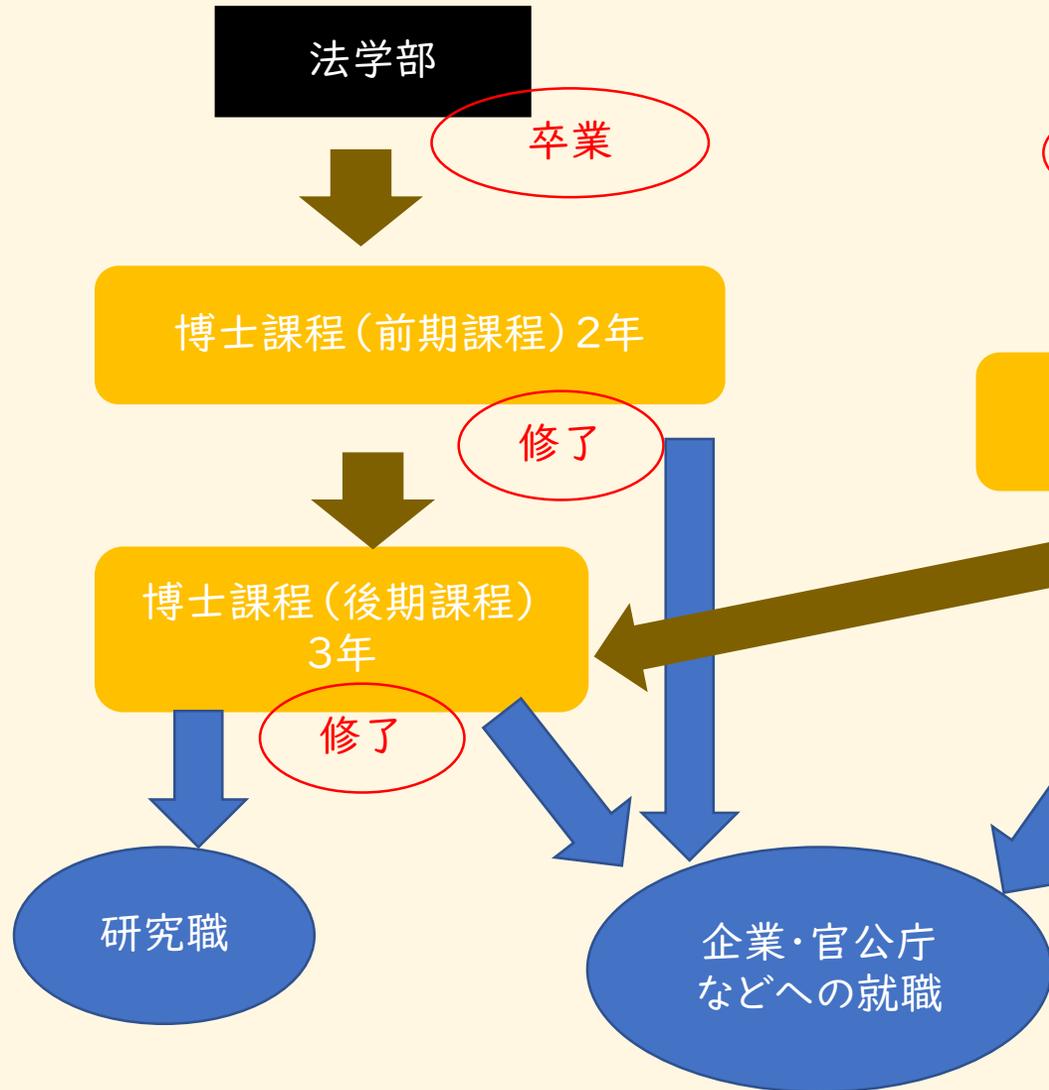


Team Doshisha

2010 年から連続出場中!
2022 年度には、香港大会で優秀書面賞! 次はアタの番です!
<https://www.instagram.com/doshishavismoot/>

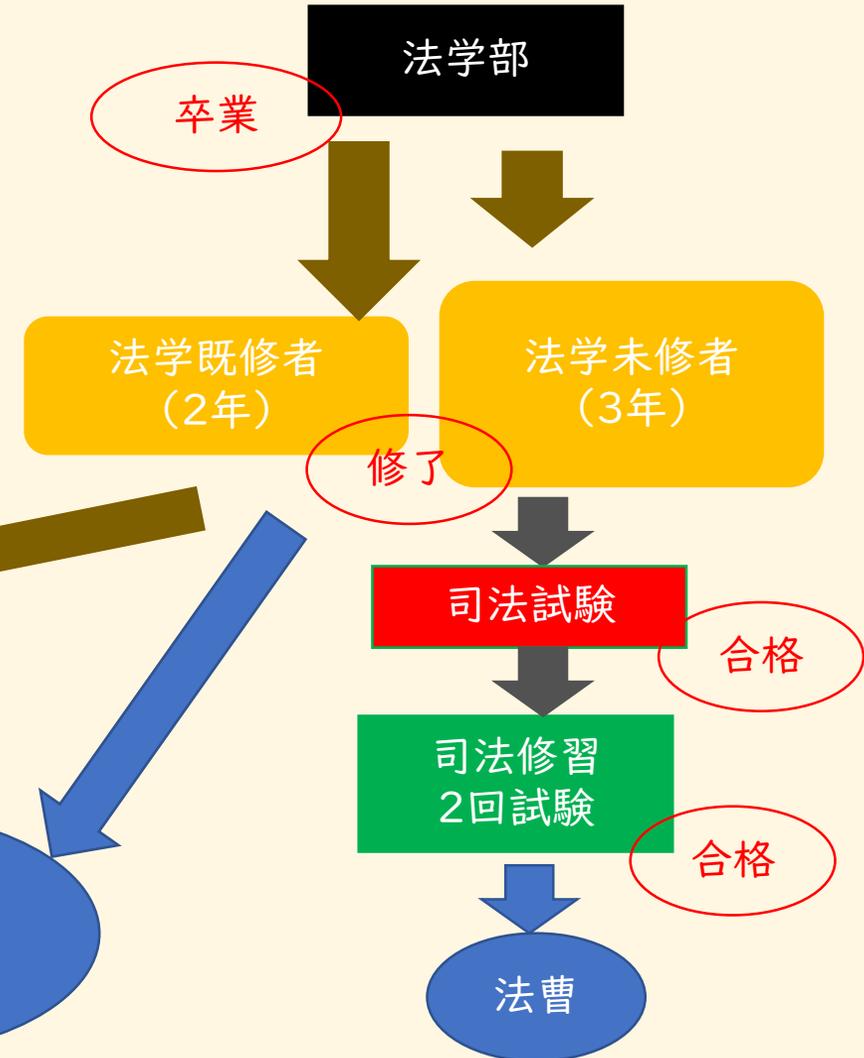
*大学院への進学 ~法学研究科と司法研究科

【法学研究科】



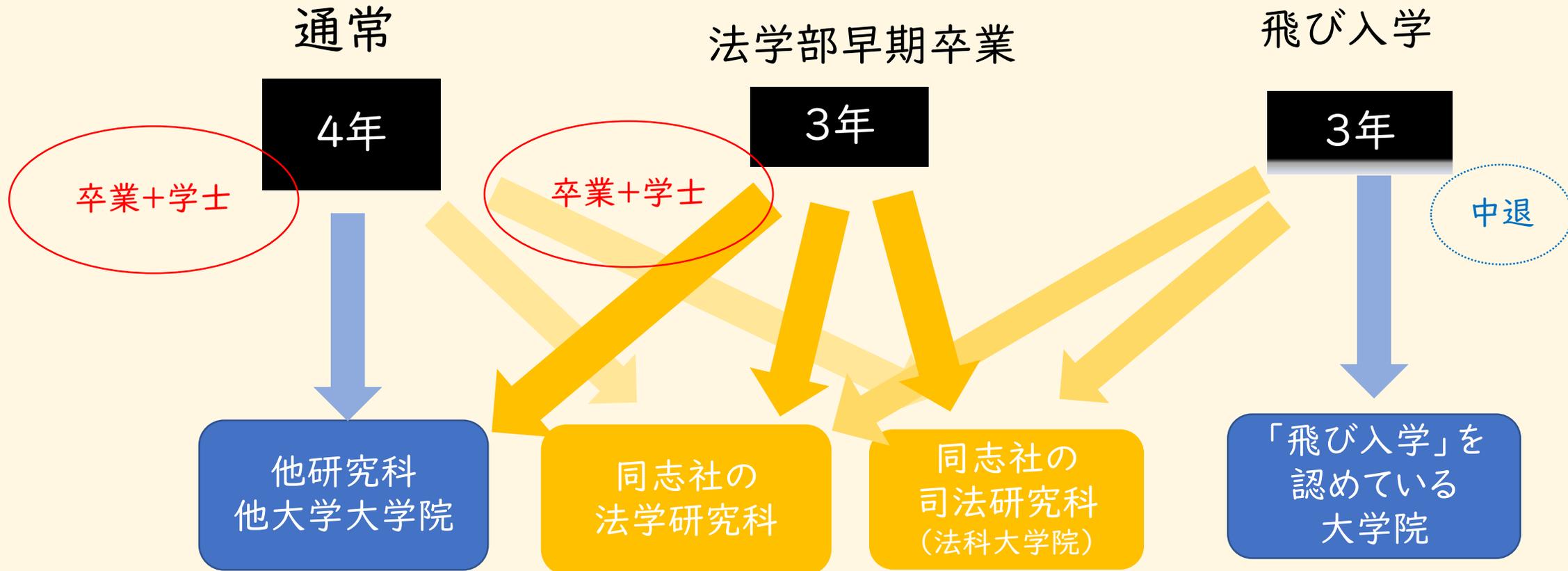
【司法研究科】

法科大学院・ロースクール



*法学部早期卒業・飛び入学

通常の在学期間を1年短縮し、大学院へ進学できる制度



*2種類の法学部早期卒業制度

- ① 学部と大学院との一貫教育を実現するため、本学法学部から
本学法学研究科・司法研究科への進学者を対象とする制度
- ② **法曹養成プログラム履修者**を対象とした制度

学部段階からの法曹になるための特別の教育課程

*法学部早期卒業制度の要件

2年終了時に、**早期卒業希望登録**（修得単位数**80**単位以上・GPA**2.8**以上）

*法学研究科の入学試験における**学部在学生特別選抜入学試験**

本学法学部在学生であれば、GPA**2.5**以上で受験資格が認められる

- 早期卒業者は、3年次終了時にGPA**3.0**以上が要件とされるため、
受験資格のGPA要件は必ずクリアできる
- ⇒ **筆記試験免除**、研究計画に関する**口述試験のみ**

▣ 履修要項171頁参照

*進路に直結する講座や科目

・特殊講義 答案作成ゼミナール

司法研究科教員による添削指導

▶法科大学院進学や、答案の書き方を基礎から学びたいという学生向き

・法職講座

法曹、公務員、企業法務など法学部での学びを活かした進路選択のための課外講座

X(旧Twitter)：[@do_hourt](#) でさまざまな情報を発信
次の頁のチラシもご覧ください!!

法職講座って知ってる？

法職講座は、司法試験に合格した「先輩」が「後輩」を指導するために立ちあげた私的な勉強会から始まりました。今から、約70年前のことです。現在は「法学部生活を充実させたい」人をサポートするための法学部課外講座として、運営されています。法職講座が、法学部での学びとあなたの夢を支えます。ぜひ、ご利用ください。

日々の学びと・・・

進路選択のために・・・

見学会も・・・

いろいろな企画が盛りだくさんです。ぜひ参加してみてください!!

Xで投稿しています。よろしければフォローしてくださいね。



同志社大学法学部法職講座は X (旧Twitter) で情報発信中。 @do_hourt